えまーじぇんすー報
№１６５
一部　３０円

無念！キャンプ無期延期

去る七月十日土曜日にスタッフ会議が開かれ、その結果申込み者数が五十人に満たないため、当初の予告通りキャンプ中止となり、更に来年以降は塾の方からキャンプ申込みの通知は出さない事となった。つまり無期延期である。昭和四十五年に始まり実に十七回、二十一年もの間塾の最大行事であったキャンプはまさに「心・知・体のバランスのとれた人間」をモットーに掲げ生活塾として存在してきた塾にとってもう一つの顔であった。そのキャンプが亡くなってしまうのは非常に残念である。しかし塾のキャンプの本質とは生徒一人一人がキャンプを作るところにある。本当にキャンプを楽しくしたい人が来なくてはキャンプは成り立たないのであるたとえ水増しして定員に達しても有意義なキャンプになるかどうかは疑問である。その意味でも中止はやむをえないだろうが、しかし本当にキャンプに行きたがっていた人もいた。そこでその人達の胸の内を聞いて見た。

この時期になると、必ずあの二年前のキャンプを思いだします。話せば長くなりますがただ覚えているのは、蚊（ブヨ）に刺されて大騒ぎしたことです。同じくブヨに刺されたＩさんやＭさん、蜂に刺されたＴさんなどとにかくたちの悪い虫がたくさんいます。皆さんもキャンプに行く時には、虫よけスプレーを必ず持って行きましょう。しかし！今年も虫よけスプレーが必要ではない夏休みになるなんて思ってもいませんでした。学校でも「○○ちゃんも行くらしいよ。」とか結構たくさんの人がキャンプに参加すると聞いて、ホッとしました。そして、あげくのはてには、一年生の男子数名に「キャンプ行くんだよ。」と少し脅したりしてしまうなど多少、キャンプ参加運動をしました。だから私は、オー今年こそはキャンプに行ける。楽しみだなーなんて心の底から思い、しかも今からキャンプに行くために国語の感想文を書こうなんていう決意までしたのに！（決意してもどうせやらない。）それなのにどうしてキャンプが中止なのですか？去年も中止であれから一年も待ったのに……。キャンプ参加希望を出していない人は、先月号の新聞のア・テスト女さんやレインガールさん、他の皆さんの楽しくてキャンプに行きたいという熱烈な記事を読みましたか？キャンプというのは、大勢の人達で行なってキャンプというものなのです。（自分でも意味が良くわからない。）とにかくキャンプのない夏休みなんて我慢できません。宿題だけの夏休みなんて、キャンプがない限りますますやる気がなくなります。スタッフの皆さん、お願いです。私達、キャンプ参加隊（勝手に作った。）をあの夢のようなブヨがいる蓼科に連れていってくれませんか？本当に本当にキャンプに行きたいのです。多分他の人達も同じ気持ちだと思います。どうか私達に愛の手を差し伸べて下さい。お願いします。

（城南中の○○○先生愛する会の会長）

今の私には生きる気力がありません。もう生きている価値がないのです。それというのもあの、うれし・楽しのキャンプがなくなってしまったため…あの時点で開催されていればこんな事にはならなかったのに…でも、今となってはもう遅いのです。今までイジメ（おっとあぶない）かわいがって下さった三宅先生をはじめ、Ｖ・Ｄのお返しにとても気を使ってくれた？上村先生、前回のキャンプですごく変態化していた伊藤先生（もしかしてあれが本当の姿かも…）、タマの紙袋を愛用していた、のびた…いや、鍵和田先生。そして、これから先お付き合いを願いたかった田中先生、秋山先生、キャンプでしか話す事の出来ない浦井先生。あーもう二度と話すこともないのですね。私は今ここで、はかなくとも短い人生に終止符をうつのです。本当に今までどうもありがとうございました。それでは皆さんさようなら…。

と、いうことで、私は今天国から二年前のキャンプの感動を胸にこの記事を書いています。思い出すなあて、班で取り組んだ演芸。そーいえば私がセリフを間違えたばかりにみんなに迷惑をかけてしまった…。そ、そんなことは忘れて他のことにいきます。みんなで頑張った。リレー形式のマラソン。疲れたけど楽しかったなあ。あの時、私がコースを間違えそうになったり、こけたりしなければ、せっかく抜かした人に再びぬかされることはなかったのに…。なんか私はもしかしてすごく班員の皆さんに迷惑をかけていたのかも…。（反省）ま、まあいいじゃないか終わったこ

御意見番

先月、北海道南西部沖で地震があったのは周知の通りである。一夜明けた現場をテレビ、新聞を通して見て改めて自然の偉大さ、恐ろしさを感じた。しかしそれ以上に私は人間の存在という事に関して考えてしまった。

人類がこの世に歳生して五万年余り、その間人類はかつてない程のスピードで開発を続けてきた。森を切り開き、河を埋め立て、ありとあらゆる資源を用いて発展を続けてきた。また人類は発展に伴い様々な知識も得ていった。その結果、人類の科学は自然を克服したかのように思えた。しかし、人類はやはり自然の事を知らないのである。いつ地震が起こるのか、いつ火山が噴火するのか人類は未だ知らない。これらの事は得てして生命に関する最も重要な事である。なぜ人類はこれほど重要な知識を自分の物にできないのだろうか。動物はこれらの事を直感的に知る。この差は何なのであろうか。

ここで私はあえて悲観的な結論を出したいと思う。日く「人類は愛されざる存在である」である。解説しよう。人類と他の動物との最大の違いは自然の中に住む者と住まざる者との違いである。人類は現代に至るまでの自然と相対してきた。自然とは人類にとって克服すべき存在なのである。動物は自然の摂理に従って生きてきた。人類は自然と生きる生き方に訣別したのである。人類はこれからどこに行こうとしているのだろうか。自然はそんな人類にどんな仕打ちをするのだろうか。

（人類滅亡論者）

二面四段へ

私のベすと5

拡大ボ2弾

先月号より登場した新企画「私のベスト5」。好評につき今回は特別編と題し中二生に自分のベスト5を存分に語ってもらった。尚、今回登場したベスト5に反論のある生徒はじゃんじゃん投稿してもらいたい。編集部は君の熱き投稿を待っているぞ！

イライラしている時、テレビにムカつく芸能人がでたりすると、それこそもう怒りが爆発して自分を忘れてしまうことがありませんか。そこで僕達がいつもムカついている芸能人を紹介します。

1　早坂　好恵
2　ルー　大柴
3　ラッキー池田
4　伊集院　光
5　小田　茜

見事に一位に輝いた人は、沖縄出身の早坂好恵です。高校生なのに先輩の芸能人になれなれしいし、クイズ年の差なんてを見れば分かるけど、腰をふって訳の分からない踊りを踊っているし、早く沖縄へ帰れといってやりたい気分です。次におしくも二位になったのはくどくて有名なルー大柴です。芸能界でこれほどうるさくてしつこい人はいないと思います。目ざわりなのでさっさと芸能界をやめてほしいです。三位に選ばれたのは最近離婚騒ぎで話題になったラッキー池田です。離婚した時ぐらい真面目に記者会見をうけたらどうだ、離婚ダンスなんて踊ってまったくばかばかしいと思う。次に選んだのは伊集院光です。でぶのくせにえばってて少し生意気だと思いませんか。それにしてもあの人って結構人気があるんですよね。あんな奴のどこがいいんだろう。でぶならもう少しおとなしくしてろ！と言ってやりたいくらいです。そして最後に五位に選ばれたのはあの小田茜です。ムカつく芸能人＝小田茜と書いてうなずく人も多いんじゃないかな。なにせ、僕達と二つしか歳が離れてないのにテレビに出るなんて：（あー書いてるうちにムカムカしてきた）演技も歌も下手なくせに。（例ばいちご白書なんて見てる方がイライラしてきて五分もしないうちにチャンネルかえちゃった。）

ムカつく芸能人てさぁ、見るたんびにイヤになってきますよね。この文を書き始めてからイライラしすぎて十五回ぐらいシャーペンの芯を折ってしまいました。今までズラズラ書いてきましたけど、これ以上書くと怒りが爆発しそうなので終わりにします。

ゆかり＆あおい

私は家族について一位から五位を選びました。

1　松井　晃男
2　クリ
3　松井　悦子
4　松井　茂計
　　松井　芳子
5　松井　香織

一位になった人は、私の兄です。なぜ一位になったかというと家族の中で一番優しいからです。でも今は、千葉の大学へ行っているのでなかなか会えません。では、二位になったのはわが家で飼っている犬です。どうして動物が二位になったかというと私の話がわかってくれる唯一の子なのです。三位になったのは、私の姉です。妙になぜかこの頃優しいので三位にしました。四位になったのは私の父と母です。いつもいつも迷惑ばかりかけているので五位にしてしまうとあとで何を言われるか分からないので二人とも四位にしました。五位は、なんと私です。なぜ私なんだかよくわかりません。でも家族みんなで協力していきたいと思っています。

松井　香織

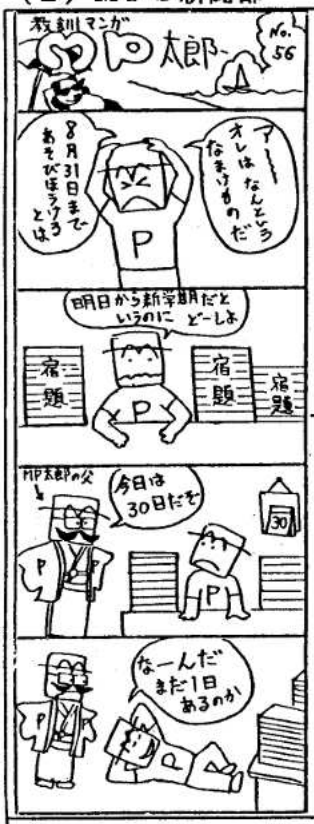
一面五段より

とは。うん、そうだ。きっと今まで記事を読んできた一、二年生は、「えっキャンプって迷惑かけちゃうだけでつまんなそう。」とか思ったでしょう。でもあの楽しさは行ってみないとわかりません。申込み用紙を出さなかったそこのあなた。天罰が下ることでしょう！

いなばのしろうさぎ

ちょっと待ってよぉ。（bYM・大黒）聞いてないよぉ。（bYC・ダチョウ）「キャンプ中止によせて」なんて記事書きたくないよー。一昨年行かなかったから、ずっーと楽しみにしていたのに中止なんてひどい。英Gなんて赤点だっていうのに（まだ期末テストの結果は出てないけど多分赤点でしょう。）夏期講習も申込まず、バイトも飽きらめて、部活も休んでCAMPに備えていた私って……。今年の夏は塾のCAMPで決まりさっと目をキラッと輝かせていたんだぞー。聞く話によると、中二生の申込みが少なかったということらしいけど、中二生！学校のCAMPは面白いけど、塾のCAMPの方が十万倍、百万倍（君の瞳は百万ボルト）楽しいんだからっ。高校生の私のような優しい先輩とも仲良くなれるし、先生達の本当の姿を知れるし、とにかくもう何もかもが楽しくてしょうがないんだよ。それが中止だなんて、私は友達に「一生のお願いだから一緒に行こう」と生まれてはじめて一生のお願いを使っちゃって、もうこれからの長い人生で一生のお願いが使えないんだから。中三生は卒業旅行があるから未来は明るいけど、高一の私達はCAMPも卒業旅行も中止でその上今年のCAMPもないなんてお先真っ暗。もうとにかく、今年のキャンプにはどうしても絶対行きたかった。

古賀亜矢子

編集後記

ようやく前期テストも終わり骨休めも兼ねてサークルの北海道出張の旅へ出かけてきました。生徒諸君も夏休みの計画はバッチリでしょうが、お金の管理には気をつけて下さい。と言う訳で今月は稼ぎが貧乏に追い抜かれてしまった鍵和田でした。次号（十月）は三宅先生によるキャンプさよなら号です。お楽しみに。